



S.C.A.M代表  
水沢信宏さん

アメリカのレザージャケットブランドの日本代理店での経験をいかし、自分が本当に着たいモノづくりを目指して「ビート・キャンニング」を設立。バンドマンとしても活動している。



**BC-102**  
ブラック×ブラウンステッチ

縫製のステッチにブラウンを採用することで、よりソフトでファッションブルなイメージへと変わる。9万9360円



**BC-102**  
ブラック

「逆ハ」の胸ポケットがヴィンテージ感とシャープな雰囲気をもたせ、ブラックのシングルジャケット。9万9360円



**BC-101**  
ブラック×ブラウン

ブラックとブラウンのレザーによるライダーズジャケット。配色バランスのよさでオシャレ感もアップ。11万6640円



**BC-101**  
ブラック

ヴィンテージのテイストも随所に盛り込まれたブランドを代表するブラックのライダーズジャケット。11万6640円

## モ

「モーターサイクルの繁栄を背景に、1930年代にはそのカチが完成したといわれているライダーズジャケット。現在でも若者からオヤジまで幅広い層から、定番のファッションアイテムとして愛されている」

「モーターサイクルの繁栄を背景に、1930年代にはそのカチが完成したといわれているライダーズジャケット。現在でも若者からオヤジまで幅広い層から、定番のファッションアイテムとして愛されている」

「モーターサイクルの繁栄を背景に、1930年代にはそのカチが完成したといわれているライダーズジャケット。現在でも若者からオヤジまで幅広い層から、定番のファッションアイテムとして愛されている」

「モーターサイクルの繁栄を背景に、1930年代にはそのカチが完成したといわれているライダーズジャケット。現在でも若者からオヤジまで幅広い層から、定番のファッションアイテムとして愛されている」



糸の太さや縫いのピッチは'60~'70年代のヴィンテージをイメージ。



鞣しのよさを実感する肉厚でありながら柔らかなカウハイド。



某スープ缶のデザインをイメージして製作された織りネーム。



高級感のあるライニングは肌触りのよさと優れた着心地を実現。

## LEATHER

# BEAT CANNING

ビート・キャンニング

©服飾雑貨MAN ☎045-662-2789 www.furugiya-man.com

レザージャケット人気は年々着実に上昇している気配があるが、ビート・キャンニングでは日本人の体にあつた、シルエットを重視した製品づくりを心がけている。肉厚でありながらも柔らかな着心地のカウハイドを使い、縫製など細かな点に工夫とアイデアを凝らしつくりあげたライダーズジャケットの数々は、革ジャン好きの間で注目を集めている。バイカーにとってレザージャケットは季節を問わない。いいモノに出会ったら即断調だ。  
文・写真/ 藪崎 大 モデル/ 中村 匡志